



個室ユニット型施設 推進協ニュース

2022年
(令和4年) 1 月号
NO. 173

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会
〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 171-1
TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472
MAIL: info@suishinkyo.net

- 赤枝雄一前会長を偲ぶ <1面>
- ユニット議連に総会開催を要望 <6面>
- 推進協のあゆみ <2面>
- ワンポイントセミナー <6面>
- 寄稿エピソード <3~5面>
- 入会施設の紹介 <6面>

追悼特集 赤枝雄一前会長を偲ぶ

赤枝雄一氏は、平成17年10月、「一般社団法人全国新型特養推進協議会」（現「一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会」）を設立し、会長に就任。設立時から昨年4月1日に亡くなるまで16年間、会長を務め、ユニット型施設の優位性と推進の必要を訴え続け、尽力してきた。赤枝雄一前会長の軌跡を振り返るとともに故人を偲ぶ。

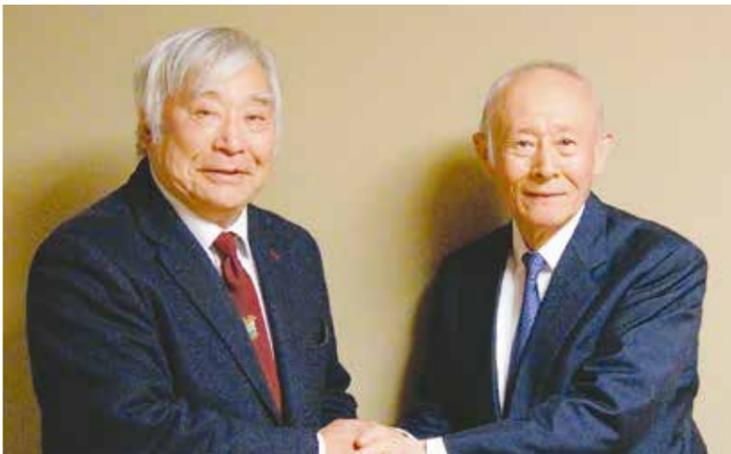
赤枝雄一前会長 プロフィール

1942(昭和17)年11月28日徳島県出身。1967(昭和42)年3月、久留米大学医学部卒業。同年4月から徳島大学インターンを経て、1973(昭和48)年3月神奈川県立がんセンター医長に就任(※旧神奈川県立成人病センター、昭和61年4月現名称へ変更)。1978(昭和53)年9月、横浜市内に赤枝病院を開設し院長に就任。1987(昭和62)年8月、医療法人赤枝会赤枝病院に改組し、理事長兼院長に就任。1990(平成2)年から、関東地区に9か所の介護福祉施設を順次開設した。2021年4月1日、甲状腺転移性肺腫瘍のため死去。享年78歳。



【推進協ニュース・新春対談から】

2016年三浦雄一郎氏と



2019年横倉医師会長と



2020年1月小池都知事と



【表彰歴】

- 2001(H13)年1月 全日本病院協会会長表彰 受賞
- 2007(H19)年10月 全国老人保健施設協会会長表彰 受賞
- 2008(H20)年8月 介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰 受賞
- 2011(H23)年1月 病院事業発展功労者厚生労働大臣表彰 受賞
- 2013(H25)年4月 旭日双光章 受賞

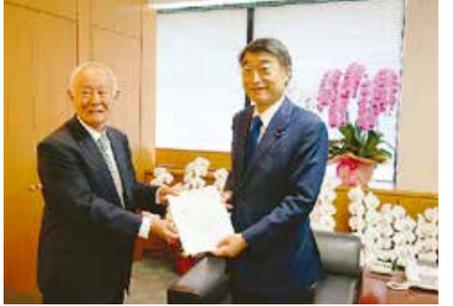


2013(平成25)年「旭日双光章」を受章

【役職歴】

- 1987(S62)年8月 医療法人赤枝会 理事長就任
- 1993(H5)年4月 全日本病院協会 常任理事就任
全日本病院協会 神奈川支部長就任
- 2000(H12)年4月 神奈川県社会福祉協議会 介護老人保健施設部会 委員長就任
- 2001(H13)年5月 神奈川県社会福祉協議会 評議員就任
- 同 7月 社会福祉法人兼愛会 理事長就任
- 同 4月 全国介護老人保健施設協会 神奈川県支部長就任
神奈川県老人保健施設協会 会長就任
- 2005(H17)年8月 全国新型特養推進協議会 会長就任
(※2010(H22)年10月 全国個室ユニット型施設推進協議会へ名称変更)
- 2009(H21)年4月 横浜市病院協会 理事就任
- 2010(H22)年10月 公益財団法人赤枝医学研究財団 代表理事就任
- 2016(H28)年10月 社会福祉法人みやび会 理事長就任
- 同 11月 学校法人東峰会 理事長就任

推進協のあゆみと世の中の出来事

介護保険法改正(施設系サービスの居住費/食費の自己負担導入) 介護報酬減額改定	2005年(平成17年)	8月 「新型特養緊急全国集会」開催 105施設134名が参加 一般社団法人全国新型特養推進協議会設立 尾辻秀久厚労大臣へ直訴するなど、活動の成果として「介護報酬改定までの6ヵ月間、特例措置として入居者1名に対し月額上限3万円の補助費支給」が決定	
地域密着型サービス創設 高齢者虐待防止法施行 介護保険法改正 介護報酬改定	2006年(平成18年)	4月 介護報酬改定で基本報酬に月額上限3万円が加えられた 6月 推進協ニュース 創刊 10月 中村秀一厚労省 社会・援護局長に陳情 12月 第1回全国研修大会(京都)「個別ケアを考えるつどい」	
高齢化率が21%超、「超高齢社会」に突入	2007年(平成19年)	11月 第2回全国研修大会(東京)「個別ケアを考えるつどい」	
後期高齢者医療制度開始	2008年(平成20年)	6月 「介護職員の生活を守る緊急集会」で諸隈正剛副会長が演説 8月 舛添要一厚労大臣に陳情 9月 第54回介護給付費分科会にヒアリング団体として陳述	
介護保険法改正 介護報酬改定	2009年(平成21年)	2月 民主党鳩山由紀夫議員に要望書を提出 6月 第3回全国研修大会(福岡)「明日の日本の介護に向けて」 12月 長浜博行厚生労働副大臣に陳情	
日本年金機構の発足	2010年(平成22年)	7月 第4回全国研修大会(東海)「これからどうする～高齢者介護～」 8月 足立信也厚生労働大臣政務官に陳情 9月 山井一則厚生労働大臣政務官に陳情 10月 一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会へ名称変更	
東日本大震災発生	2011年(平成23年)	5月 第75回介護給付費分科会にヒアリング団体として陳述 6月 第5回全国研修大会(大阪)「みんなの力で介護の未来を切り開こう！」	
介護保険法改正(看取り加算の創設) 介護報酬改定	2012年(平成24年)	8月 第6回全国研修大会(北海道)「その人“らしさ”を支える個別ケア」 9月 小宮山洋子厚労大臣に陳情	
	2013年(平成25年)	4月 ユニットケア研修事業開始 10月 第7回全国研修大会(宮崎)「尊厳ある“穏やかな暮らし”の実現」	
消費税が5%から8%に	2014年(平成26年)	9月 第109回介護給付費分科会にヒアリング団体として陳述 11月 第8回全国研修大会(千葉)「一人ひとりの幸せを大切に」	
介護保険法改正(入所要件が要介護3から) 介護報酬改定	2015年(平成27年)	2月 自由民主党 個室ユニットケア推進議員連盟 設立 4月 横浜市認知症介護実践者研修事業開始 9月 第3回個室ユニットケア推進議連総会に陳情 11月 第9回全国研修大会(宮城)「医療と介護を連携する総合力」	
熊本地震発生	2016年(平成28年)	10月 個室ユニットケア推進議員連盟との朝食勉強会 11月 第10回全国研修大会(新潟)「まち・ひと・ケアで結ぶ地域づくり」	
	2017年(平成29年)	4月 第6回個室ユニットケア推進議連総会に陳情 7月 第7回個室ユニットケア推進議連総会に陳情 9月 第146回介護給付費分科会にヒアリング団体として陳述 10月 第11回全国研修大会(岐阜)「つなぐ」 11月 第8回個室ユニットケア推進議連総会に陳情	
介護保険法改正(「準個室」を「個室的多床室」に名称変更) 介護報酬改定 西日本豪雨災害発生	2018年(平成30年)	1月 個室ユニットケア推進議員連盟を通して加藤勝信厚労大臣へ要望書を提出 6月 第8回個室ユニットケア推進議連総会に陳情 10月 根本匠厚労大臣に、個室ユニット型にインセンティブが働く介護報酬となるよう要望 10月 第162回介護給付費分科会 ヒアリング団体として陳述 11月 個室ユニットケア推進議員連盟との朝食勉強会 11月 第12回全国研修大会(沖縄)「愛むすぶ”しあわせ探し～ゆいまーの”のこころで結ぶユニットケア」	
消費税が8%から10%に	2019年(平成31年/令和元年)	4月 赤枝会長が有識者会合「個室ユニット型施設の推進に関する検討会」に委員として参画 翌年7月まで4回の会合が開催された 6月 第10回個室ユニットケア推進議連総会に陳情 8月 社会保障審議会介護保険部会の「第2回介護分野の文章に係る負担軽減に関する専門委員会」にヒアリング団体として意見陳述 9月 全国個室ユニット型施設推進政治連盟 設立 10月 第13回全国研修大会(神奈川)「Innovation(イノベーション)」 10月 加藤勝信厚労大臣に陳情 12月 個室ユニットケア推進議員連盟との朝食勉強会	
新型コロナウイルス感染症の流行 東京オリンピック延期	2020年(令和2年)	4月 加藤勝信厚労大臣に陳情 8月 第181回介護給付費分科会 ヒアリング団体として陳述 11月 ユニットケア研修 座学のオンライン開催開始 11月 自民党介護福祉議員連盟の介護事業者団体ヒアリングで陳述	
介護保険法改正(LIFEの導入、ユニットの大規模化など) 介護報酬改定 東京オリンピック・パラリンピックが原則、無観客で開催	2021年(令和3年)	4月 月例研究会、ワンポイントセミナーなど各種研修のオンライン開催を開始 4月 タウンミーティングを開催し、介護報酬の次期改定に向けて意見交換 6月 個室ユニットケア推進議員連盟との勉強会 8月 ユニットケア完全実施決議大会をオンライン開催 10月 ユニットケア完全実施決議文を厚労省へ提出	



赤枝雄一前会長とのエピソードや思いなどを 役員の方々にお寄せいただきました



副会長 高木邦格
(学)国際医療福祉大学 理事長



赤枝雄一前会長
とのお付き合い
は、全国老人保健
施設協会と同じ役
員となったことがきっかけでは
ありません。以来、長きにわたり
ご厚情を賜りましたこと、心より
感謝申し上げます。

赤枝前会長は、仕事に興味にい
つもアクティブに取り組む元氣あ
ふれる方でした。ヘリコプターの
免許を取得されたときは「一緒に
乗らないか」と誘ってくださった
り、ことあるごとに酒席をともに
したり、大変親しくさせていた
きました。

全国個室ユニット型施設推進協
議会を設立された折には、赤枝前
会長からのご依頼で副会長をお引
き受けいたしました。会合への
出席もなかなかかわらず、そのご
期待に添えなかったのではない
かと心苦しい限りでございます。

日本の医療福祉の現場をよりよ
いものにしたという強い信念か
ら、いつまでも一心に邁進され
る姿勢は、同じ医療福祉関係者
として大変敬服いたしております
。心よりご冥福をお祈りいた
します。

副会長 安江 紀子
(福)幸紀会 理事長



4月1日、赤枝
会長ご逝去の報、
それは到底、信じ
難い瞬間でした。

平成17年8月、お呼び掛けをいた
だいて参集した赤坂プリンスホテ
ルでの新型特養設立の日から、現
在の個室ユニット型施設推進協
議会への苦難な道のりを、いつも優
しいお人柄でお支えいただきました
。この年月の日々、私も会員
に、こんなにも大きく温かいお心
で接してただけました会長の
中、に厳しい病魔がひそんでいま
した。こと少しも存じ上げず、随分ご無
理を申し上げていましたこと、今

更のごとく悔やまれてなりません。

立ち上げたばかりの岐阜支部の
総会に眞紀子夫人とお2人でご出
席いただき、ご指導賜りました。
当日、田舎のこと何のおもてな
しも出来ず、丁度シーズン始ま
って間もない長良川の鵜飼を見て
いただきました。宿の間違いで寸足
らずの浴衣を恐縮する係の言葉に
「これでいい、これでいい」とニコ
ニコとカメラに納まれた会長の
温かく可愛らしいお姿、今も心に
深く焼きついて居ります。自らに
は厳しく、他人には温かい思いや
り、いつも接していただきました。
すばらしい会長でございました。
ありがとうございました。どうぞ
ごゆっくりお休みください。



ご長良川 鵜飼
2008年5月15日

副会長 田伏 清
(福)バルツア事業会 理事長



昨年、推進協
もご承知の通り、
我らの敬愛するか
けがえのない大き
なりリーダーを失なってしまう事
になりました。個人的には未だに受
け入れられずにおります。

今から思えば、介護報酬の大き
な減額改定が発表され、示された
報酬案にて予算立てをしたとこ
ろ、たちまち借入金返済に行き
詰まる事が判明しました。途方に
暮れておりました丁度その折、一
通の手紙を頂きました。手紙には、

全国で増え始めていた新型特別養
護老人ホームの存続を憂慮する内
容が記されており、志を同じくす
る全国の法人施設に呼びかけ一同
に集まりましょう！との切実でか
つ力強い文章でございました。そ
の差出人こそが、赤枝雄一前会長
でありました。それを拝見した時、
根柢はなかったのですが何故か不
思議な「安堵」を覚えたことを鮮
明に記憶しております。

その後の前会長の動きは早く、
スグに「全国新型特養推進協議会」
の第1回総会が行なわれ、全国か
ら数十名の運営者が参集されまし
た。その後総会より程なくして、
前会長より「今週、大阪に行くの
で同行されたし！」と突然連絡が
入り、アタフタしておりました
ところ、お会いするや否や近隣の
特養施設を3ヶ所訪問し、なんと
その内の1つの施設に即日入会し
ていただきました。あの事は、思
い出す度に今でもビックリしま
す。関西には約6時間滞在され、
新幹線京都駅までお見送りした
のですが、その際「じゃー！今日
は有難う」と手を振られた後ろ姿
が映画の1シーンの様で、今でも
お姿が目に残り付いております。

お話は沢山あり尽きないのでは
ありませんが、新しい年となりました
でも「黄泉の世」よりいつまでも
前会長にご指導・ご教授賜われま
すこと願って止みません。本当に
ありがとうございます。感謝の
気持ちを含めまして、新年のご挨拶
とさせていただきます。

副会長 栗野裕治
(福)八生会 理事長



2022年新年
明けましておめで
とうございます。
新型コロナウイルス感染は
ワクチン接種が進み、全国的に減
少してまいりました。皆様のご協
力に感謝申し上げます。

さて、赤枝雄一前会長が昨年ご
逝去され数か月が経過いたしました
が、未だに前会長のやさしい笑

顔、ユニットケアへの思い、お言
葉が今も思い出されます。この
ままでは全国の特養個室ユニット
型施設がつぶれてしまう、なんと
かしなければ、前会長は強い信念
を持ち、施設関係者、行政、政府
に対して、様々な機会を通じ、訴
え続けてこられました。現在、こ
うしてユニット施設が安心して運
営できていることは、前会長のご
尽力のお蔭だと感謝申し上げます。
前会長のこれまでのお考えを
これからも継承し、赤枝眞紀子会
長を先頭に役員、会員が一丸とな
り、ユニットケア推進発展のため
に努力してまいりたいと存じま
す。今後とも変わらぬご支援ご協
力のほどよろしくお願いいたしま
す。

赤枝雄一前会長
とは全国老人保健
施設協会でご一緒
いたしました。横
浜の伊達男そのもので、ロマンス
グレーというより白銀の髪とスポ
ーツ焼けた優男。眞紀子夫人と
並ぶと美男美女カップルで、「さ
すが横浜！」と思われました。全老
健でも話題になるのは「個室ユニ
ット協会」。個室ユニットの強化
と人材育成に力を注いでおられま
した。協議会がスタートした平成
17年8月19日は認知症や障害者関
連に取り組む者にとっては「障害
者自立支援法」が国会の万歳解散
でどうなるか不安な時期でした。
秋の臨時国会で通してけるとわか
かってほっとしたのを覚えていま
す。同じ時に、赤枝前会長が思い
を推進協に託し設立してしまし
た。「個室ユニット型施設の健全
なる発展を推進することは高齢者
福祉の増進に寄与する」「目的
に資するため会員のみならず非会
員や一般に対しても事業を行う」
前会長の想いは受け継がれていま
す。

赤枝雄一前会長
とは全国老人保健
施設協会でご一緒
いたしました。横
浜の伊達男そのもので、ロマンス
グレーというより白銀の髪とスポ
ーツ焼けた優男。眞紀子夫人と
並ぶと美男美女カップルで、「さ
すが横浜！」と思われました。全老
健でも話題になるのは「個室ユニ
ット協会」。個室ユニットの強化
と人材育成に力を注いでおられま
した。協議会がスタートした平成
17年8月19日は認知症や障害者関
連に取り組む者にとっては「障害
者自立支援法」が国会の万歳解散
でどうなるか不安な時期でした。
秋の臨時国会で通してけるとわか
かってほっとしたのを覚えていま
す。同じ時に、赤枝前会長が思い
を推進協に託し設立してしまし
た。「個室ユニット型施設の健全
なる発展を推進することは高齢者
福祉の増進に寄与する」「目的
に資するため会員のみならず非会
員や一般に対しても事業を行う」
前会長の想いは受け継がれていま
す。

副会長 稲庭千弥子
(福)友遊会 理事長



赤枝雄一前会長
とは全国老人保健
施設協会でご一緒
いたしました。横
浜の伊達男そのもので、ロマンス
グレーというより白銀の髪とスポ
ーツ焼けた優男。眞紀子夫人と
並ぶと美男美女カップルで、「さ
すが横浜！」と思われました。全老
健でも話題になるのは「個室ユニ
ット協会」。個室ユニットの強化
と人材育成に力を注いでおられま
した。協議会がスタートした平成
17年8月19日は認知症や障害者関
連に取り組む者にとっては「障害
者自立支援法」が国会の万歳解散
でどうなるか不安な時期でした。
秋の臨時国会で通してけるとわか
かってほっとしたのを覚えていま
す。同じ時に、赤枝前会長が思い
を推進協に託し設立してしまし
た。「個室ユニット型施設の健全
なる発展を推進することは高齢者
福祉の増進に寄与する」「目的
に資するため会員のみならず非会
員や一般に対しても事業を行う」
前会長の想いは受け継がれていま
す。

赤枝前会長との出会いの翌週、私は
急遽関東に異動となった。大臣へ
の陳情など前会長との新たな展開
が待っていることを私は知る由も
ない。いくつかの偶然が重なって、
前会長との出会いがあったと思う。
本当に誰に対しても真っ直ぐな、
自分に対しても真っ直ぐな、そん
な前会長のことを私はとても大好
きになっていた。これからも前会
長の遺志を引き継ぎ、微力ながら
推進協のため、誠心誠意活動して
いこうと思っている。それが前会
長への恩返しだと思っている。

総務企画広報委員長 佐々木亀一郎
(福)元氣村 常任理事



赤枝前会長との
出会いは15年以上
前に遡る。当法人
グループの施設を
宮城県に開設することになり、私
が開設から9か月間だけ施設長を
することになった時のことであ
る。11月下旬頃のある日、前会長
の秘書から突然の電話が。何かの
会を立ち上げ、代表が来訪するこ
とはなかったが、当時は何のこと
か皆目見当がつかずいた。「こ
んな田舎まで来る代表とは、どん
な人？」モノ好きな人が来るのか
と妙に何か楽しみになったのを覚
えている！会って話してみると、
会長はとても気さくな人だった。
「なんとかしなくては！なんとか
会を立ちあげたい！」そんな思い
に駆られて、久しぶりにワクワク
している自分がいた。一連の話が
終わって帰路につく際、「駅まで
送ります」とお声をかけたら「大
丈夫です！歩きますので！それよ
り、一緒にやりましょう！力を貸
してください！」と声が返ってき
た。せめて、お見送りをと思い、
外を見ると、駅へとまっすぐ伸び
る道路には雪混じりの風が吹き
始めていた。私みたいな若造に別
れ際まで丁寧な接してくれ、吹雪
く中を駅まで歩く会長の姿を見て
「この人は裏切れない！」との思
いが私の中に強く湧いてきたのを
鮮明に覚えている。

前会長との出会いの翌週、私は
急遽関東に異動となった。大臣へ
の陳情など前会長との新たな展開
が待っていることを私は知る由も
ない。いくつかの偶然が重なって、
前会長との出会いがあったと思う。
本当に誰に対しても真っ直ぐな、
自分に対しても真っ直ぐな、そん
な前会長のことを私はとても大好
きになっていた。これからも前会
長の遺志を引き継ぎ、微力ながら
推進協のため、誠心誠意活動して
いこうと思っている。それが前会
長への恩返しだと思っている。

前会長との出会いの翌週、私は
急遽関東に異動となった。大臣へ
の陳情など前会長との新たな展開
が待っていることを私は知る由も
ない。いくつかの偶然が重なって、
前会長との出会いがあったと思う。
本当に誰に対しても真っ直ぐな、
自分に対しても真っ直ぐな、そん
な前会長のことを私はとても大好
きになっていた。これからも前会
長の遺志を引き継ぎ、微力ながら
推進協のため、誠心誠意活動して
いこうと思っている。それが前会
長への恩返しだと思っている。

介護保険委員長 藤村一朗
(福)久住会 理事長



赤枝雄一前会長のご逝去に際し心よりご冥福を申し上げます。前会長

とは当時の副会長だった方のご縁で入会し、ずっとお世話になりっぱなしでした。当初から重責を命じられ、介護報酬のあり方やユニット型個室のあり方などでは信念や妥協を許さない強さを常に感じておりました。的確に真つすぐな姿勢に圧倒され、成果がなかなか出せない中で焦りを感じていたのが正直な気持ちであります。しかしながら、屈託のない笑顔で言う言葉に頂いたことなど、思い出は尽きません。立ち上げから今日に至るまでの取り組みに敬意と今後の協議会発展を祈念して一筆書かせていただきました。

理事 星野進



故赤枝雄一前会長のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。赤枝前会長との出会いは平成17年10月、前

倒しの介護報酬改定による経営破綻に陥る不安を抱えた中、ホテルでの席上で悪法に屈せずパワー溢れる熱弁を振るわれる前会長のお姿に感動し、名刺交換をさせていただいた時でした。

その後、前会長から声が掛かり厚労省や衆議院会館等の訪問に随行させていただきました。なかでも心に残ったのは平成22年10月政権交代後の細野豪志議員との面談です。前会長が「今の特養が更に良い方向に行くためにはどのような努力が必要と思われませんか」と尋ねたところ、細野議員は2つの示唆を与えてくれました。1つ目は介護に精通した人材を国会に送って介護を医療と同レベルの土俵に上げること、2つ目は社会が認める高レベルな人材育成と介護施設全般の質を高めることでした。

細野議員の言葉はその後の推進協が歩む道に大きな影響を与えたと思っています。これまでの貴重な出会い全てが赤枝雄一前会長並びに共に歩んでこられた現会長赤枝眞紀子夫人のお陰と心より感謝申し上げます。



2007年1月 赤枝会長来苑

理事 牟田和男
(福)誠和会 理事長



赤枝雄一前会長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。さて、赤枝雄一

前会長には本会創設時からいろいろとご指導やご助言を頂きました。推進協が発足する前年の平成16年、突然、前会長からユニット型特養の会を作るので協力してほしい、まずは会って話したい」とのお電話がありました。たまたま大学が同窓だったためと思えます。それが前会長との出会いでした。

行動的な前会長は、すぐに福岡にいらして、①これからの高齢者福祉の基本は個人尊重、ユニット型が最適②その運営には適正な介護報酬による裏付けが必要③実現には行政と政界へ働きかけをする全国的組織が必須、と力説されたのを昨日のこのように思い出します。前会長と共通の趣味は旅行でした。ヘリコプターの操縦免許を取得している前会長との約束「私がヘリコプターを操縦して阿蘇でも行きましょう」。実現しなかつたのは残念でなりません。その後、ご家族ぐるみのお付き合いをさせていただき、公私共に大変お世話になりました。今後は、赤枝眞紀子会長を支え、微力ながら本会の運営に協力したいと思っております。

理事 八木秀富
(福)豊中福祉会 理事長



赤枝雄一前会長は、平成17年の新型特養経営危機に際して、全国の

型特養施設に呼び掛けて推進協を立ち上げ、会員施設を結集、これまで牽引されてきました。その功績は言葉に尽くせないほどです。思い起こせば、赤枝前会長と一緒する機会となりましたのは、私が介護保険委員とそれに続く介護保険委員長を拝命するようになってからです。前会長は個室ユニット型特養の報酬改善に全力を尽くされ、私も同伴して厚生労働大臣や厚生労働省老健局の課長、社会保険審議会介護給付費分科会委員長等を訪問して介護報酬の改善や運営上の課題改善等の要望を行いました。当時を振り返りますと前会長は個室ユニット型特養のために、ご自身の人脈やチャンネルを駆使して関係機関と協議し、その実行力に私は唯々敬服しておりました。赤枝前会長にご教示を得たことを心の糧として今後の目標ともさせていただきます。

たのは残念でなりません。その後、ご家族ぐるみのお付き合いをさせていただき、公私共に大変お世話になりました。今後は、赤枝眞紀子会長を支え、微力ながら本会の運営に協力したいと思っております。

監事 久保谷勤
(福)寿徳会 理事長



平成17年10月、当時の厚生労働省通達により介護報酬が引き下げられたことで、開業を12月に控えていた「はだの松寿苑」の収支計画は大きく損なわれました。そのような折、赤枝前会長から「新型特養(個室ユニット型)の運営と介護の在り方等々について、協議会を立ち上げ、行政機関などに要望や改善を図っていきませんか」とのお誘いを受けました。私にとって前会長に巡り合えたことは神様に

また、国会議事堂に向かい、議員の先生方に当協議会の運営や会員の苦しい施設運営状況を訴えました。厚労省の総務課長に、引き下げられた介護報酬のアップを要望したことを今でも思い出します。個人的には、前会長と何度かお食事を一緒にさせていただき、個室ユニットの運営などについて語り合いました。また私の長男が日本オープンゴルフや他の複数の大会で優勝したことなどを話したところ非常に感心され、「当協議会の会員でゴルフ同好会を作りましょう」と言われました。



2017年9月 ゴルフ同好会

常日頃から前会長は、入居者本位の質の高い介護サービスの提供を会員施設はもとより全国の全施設が上質の介護サービスが提供できるようにすることを念頭に活動されていたと思います。今でも各委員会の立ち上げや全国に支部を作るなど、会の発展に意欲的に取り組んでおられたご様子が目に浮かびます。これからも前会長に期待し、会の飛躍を願っていた矢先、突然の訃報に接しショックで何の言葉も出ませんでした。前会長には、公私にわたりご指導やお付き合いをいただき、ありがとうございます。謹んで哀悼の意を表します。安らかにごゆっくりおやすみください。

型施設推進協議会をはじめ病院団体等、さまざまなか所で一緒する機会があり大変お世話になりました。特に施設経営に関しては多くのご示唆をいただき勉強をさせていただきますました。様々な会議で勝負服であるブルーのスーツに身を包み、理路整然とお話を進められる姿は憧れでもあり、またその企画力・決断力・行動力に心の底から尊敬していました。今後の高齢者医療・介護を支えるための環境について熱く語られていた姿が今も目に浮かびます。そして何より、筋を通し、人を大事にし、人をハッピーにする人間力の高さを懐かしく想い出します。前会長の魂と熱い志は、眞紀子会長や須田香澄様、須田雅人先生をはじめ多くの方に引き継がれていることでしょう。改めてご冥福をお祈り申し上げます。

理事 清水富志子
(福)近代老人福祉協会 常務理事

15年前に推進協の会員になり、赤枝前会長にお目にかかりました。私にとりましては雲の上の方でお話ができる存在ではありませんでした。韓国の視察旅行も一緒にさせていただきました。現会長の赤枝眞紀子さんと入会前から知り合いましたので、「しよじゆの里三保」の施設は幾度も見学させていただき、その折に前会長とお話しする機会もありました。ある時、前会長に「奥様のお具合はいかがですか」とお聞きしましたら「あまりよくないんです」と、とてもご心配されている様子に心を打たれました。その後、眞紀子現会長はすっかりお元氣になられて安心しておりましたが、まさか前会長がお亡くなりになってしまふとは、とても残念で仕方がありません。心からご冥福をお祈り申し上げます。

理事 安藤高夫
(医)永生会 理事長



赤枝雄一前会長のご逝去を伺ったときには驚き、また大きな喪失感を覚えました。まさに巨星墜つといった言葉がふさわしいように感じます。前会長と初めてお会いしたのは20年以上前のことになりました。それ以来、全国個室ユニット

た大きな喪失感を覚えました。まさに巨星墜つといった言葉がふさわしいように感じます。前会長と初めてお会いしたのは20年以上前のことになりました。それ以来、全国個室ユニット

理事 石島衛
(福)憲章会 理事長



沖繩支部長 上里絹代
(福)憲章会 理事



平成17年6月1日、当法人では旧特養「東雲の丘」を沖縄県初の新型特養に建替え、お年寄りの尊厳とハードの持つ介護力の実現を合言葉に、職員一丸となってスタートしたところでした。ところがその矢先、平成17年10月の前倒しの介護報酬改定が実施されることになり、予定していた介護報酬額が見込めず、赤枝前会長を頼って相談することにしました。前会長は、ご多忙にもかかわらず奥様と一緒に快く迎えてくださいました。「プライバシー保護や質の高い介護、介護報酬増額の要望など」を尾辻秀久厚生労働大臣に直訴陳情することを情熱的に話されておられました。

前会長と奥様はユニットケア推進のために日本ユニットケア推進センター主催の研修会にも率先して出席され、私達と一緒に受講していたことがつい最近のように思い出されます。ユニットケアの研修を率先して受講することに「2人は勉強家だなあ」と感心したことを覚えております。前会長はユニットケアの良さを強力に推進し、厚生省から指定を受けてユニットケア研修事業を始めました。ユニット型特養の介護報酬も制度化され、お年寄りの生活の質も格段に良くなっています。これは前会長のご尽力のお陰であります。また、沖縄での全国大会開催では大変お世話になりました。結に、前会長の推進協へのご尽力に感謝し、追悼の言葉にしたいと思います。

理事 内田泰史
(医)怒泉会 理事長



赤枝雄一前会長に心より哀悼の意を表します。

前会長との出会いは老健の関東支部長会、特養でのおむつゼロの運動の成果をお話しした時でした。おむつゼロ運動は国際医療福祉大学の竹内孝仁大学院教授に高知市でご講演ご指導していただき実行したもので、ほぼゼロを達成し、ご本人・ご家族・職員に本当に喜ばれたものでした。排泄の自立は人間の尊厳に必要なものだと、前会長から言われました。次に会ったのは、平成24年11月高知県支部を設立することのこと、高知にいらした時。施設を見学していただいた折に、推進協議会の目的や理念などをお伺いしました。プライベートのお話も聞き、自ら操縦しフライトされることに驚きました。懇親会での記念撮影、懐かしい思い出です。赤枝前会長を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。

理事 功刃 融
(福)芳寿会 理事長



介護保険の運営制度に多大な業績を残された巨匠、赤枝雄一前会長が

昨年4月他界された。前会長には公私に渡ってご指導を受けた。介護施設の運営に関わる私にとつて、忘れられない言葉がある。「介護の運営は利益を追求してはいけません。介護される人は弱者なので、接して下さい！」この言葉が脳裏に潜在していて、何かをする時に常に蘇る。毎月、横浜や東京での勉強会の時にも、その時節の話題や問題点を勉強して来られ、討議の中で改善が必要だと思われする点、即座に行政等に申し入れをするなど、介護制度の改善に積極的に行動された。

今後は、残された我々がその何十分の一でも受け継いで、介護と医療の連携を推し進めていかねばならないと思っています。赤枝雄一前会長、天国から確と見守っていてください。

理事 田中彰
(福)賛幸会 理事長



赤枝前会長と初めてお会いしたのは、平成17年の介護保険改定にあたり、個室ユニットの経営が成り立たない状況を控えて前会長の呼びかけで急遽厚労省に改定交渉に伺った時でした。その時、交渉に参集した5名はその後前会長の指導下で現在の推進協を支えてきました。何もない組織から現在の交渉力を持つ推進協にまで育てられた前会長の強力な指導力と推進力には頭が下がります。何度かの交渉の末、厚労省も中間改定に同意し、その結果、個室ユニット型特養の経営が立ち直り現在に至っています。最初の厚労省との話し合いは厚労省玄関横の小部屋で「聞き置く」程度の対応であったのを

記憶しております。交渉を重ねるに従い、上階の部屋になり、わたくしの知る最後は副大臣室だったと記憶しています。政治を知らない私は前会長の目的を押さえた政治手法と組織作りにはただただ感服いたしました。新執行部による今後の推進協のさらなる発展を願っております。

理事 田中政春
(福)長岡三古老人福祉会 理事長



故赤枝雄一前会長と親しく交友させていただいたのは、全国介護老人保健施設協会主催の神奈川大会で、会計の件で議論が白熱し紛糾混乱したとき、正論を主張する前会長の迫力に感銘を受け、小生などが支援したことが縁で推進協に入らせていただきました。前会長は社会活動ではフェアと友好を尊び、そして闘志にあふれたスポーツマンでした。

写真は第10回全国研修大会が新潟市で開催された折の一葉です。病苦に耐えながらも会員増強が必要だと説諭されているところだと、今は推察しています。事務局体制の強化を進め、厚生労働省から懸上忠寿事務局長を迎えスタッフが充実し、これからという時に残念でなりません。残されたスタッフと執行役員が前会長の方針に沿い、赤枝眞紀子

会長を中心に活躍されることを期待します。

徳島支部長 武久洋三
(福)平成記念会 理事長



徳島で「赤枝」という名前を知らない人はいないというくらい、赤枝家は有名な産婦人科医院でした。正に徳島の中心街の大通町にある大繁盛の産婦人科で、赤枝家の皆様は徳島のエリート一家として尊敬を集めていました。

赤枝雄一前会長は、私より1年下で久留米大学を卒業後、徳島大学産婦人科に入局され、頭角を現していました。私も岐阜県立医科大学を卒業し、大阪大学でのインターン終了後に徳島大学大学院に入学、副科目の関係で入局して来られた前会長にお会いしました。眼力鋭く、正に自信に満ち溢れた若手医師でした。私は、大学院卒業後、徳島大学第3内科に進みましたが、前会長のその後については知りませんでした。しかし私が42歳で病院を開設、その後、老健を開設してしばらく経ったころ、横浜市で開催された全老健大会の主催者が何と前会長で、神奈川県老人保健施設協会の会長を務められていました。中学校から同級生であった全国老人福祉施設協議会会長の中村博彦元参議院議員と懇意にされていましたが、やがて意見の相違から全国個室ユニット型施設推進協議会を立ち上げ、会長となりました。私もユニット型施設を経営していましたが、さっそく馳せ参じてお世話になりました。



全国大会新潟で会員増強を訴える赤枝会長

また眞紀子夫人は中学校時代の前会長の同級生で、徳島でも有名な美人、私も1年下の彼女を見て胸をときめかせた男性の1人でしたので、眞紀子夫人との再会は正に夢のようでした。前会長は横浜で病院や特養、老健など医療や介護分

野で大きな成長を遂げ、厚労省に對しても有益な提案をどんどんされる素晴らしい牽引力のあるリーダーでした。70歳半ばで病魔に侵されていたとは全く知りませんでした。しかし、眞紀子夫人が会長として全面的に継承されたのは正に適任です。とても頭が良く学業も優秀でご主人に勝るとも劣らない才能の持ち主です。私も傘寿ですので多くの協力はできかねますが、これからはできる限り赤枝眞紀子会長を支えていきたいと思っています。合掌 赤枝雄一前会長。安らかに眠りください。

宮城支部長 阿部仁美
(福)秋の里 理事長



赤枝雄一前会長のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。生前、会議や研修会の席上で、常に時勢の先を行く内容を、エスプリのきいた平易な言葉でお話しされるお姿に、深く感銘を受けました。最期まで医学や福祉の向上に尽力されたご功績に、尊敬と敬意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略、順不同)



個室ユニット議連新会長に

森英介衆議院議員が内定

赤枝会長 新体制での総会開催を要望



総会開催要望のためユニット議連の新会長に内定した森議員を訪問(左から赤枝会長、森議員、佐々木政治連盟代表)

設の経営が危機的状況にあることを訴え、早い段階での総会開催を要望した。

赤枝会長は「平成27年の改正で特養は要介護度3以上でなければ入所できなくなった。待機者が多いからという理由で改正が行われたが、現在はサービス付き高齢者向け住宅などが増えたことで待機者が減ってきている。特養への入所要件である要介護度3の状態になるまで待ってられないから、要介護度1から入所可能なサ高住やケアハウスを選ぶ人が増えた。待機者が減って特養は経営的危機に陥っている。競争原理の面からも特養の入所要件をせめてサ高住同様にしてほしい」と訴えた。

また、同席した全国個室ユニット型施設推進政治連盟の佐々木亀一郎代表は「生前、故赤枝雄一前会長はコロナ禍前から『ユニット型は感染症に強い』と主張していた。ユニット型施設は感染症が発生したユニット以上には広がらずに完結できる。感染対策の面からもユニット型個室の推進は重要だ」として、ユニット型施設の整備推進について要請した。

それを受けて森議員は、ユニット型施設の第一人者であった故外山義氏と学生時代、寮が同じであったとの交流を披露し、「これまで同様に協力したい。勉強会も早くに開催したい」と述べた。この後、赤枝会長からはユニット議連事務局長の中村裕之議員事務所を訪ね、ユニット議連総会の早期開催をお願いした。

先の衆院選を受け、自民党個室ユニットケア推進議員連盟(ユニット議連)では新会長に森英介衆議院議員が内定し、まもなく新体制が発足する。ユニット議連は、2月に新体制後初の総会を開催し、国が進める新たな制度改正に

ついて意見交換する考えだ。

12月22日、全国個室ユニット型施設推進協議会(推進協)の赤枝眞紀子会長は、ユニット議連の新会長に内定した森英介議員を訪問し、平成27年度の制度改正によって待機者が減少し、ユニット型施設

2021年12月ワンポイントセミナー

実地研修施設になるまで (岐阜県・岐南仙寿うれし野)

介護現場の職員を対象とした「ユニットケアワンポイントセミナー」。12月は2016年4月にユニットリーダー実地研修施設となった岐南仙寿うれし野(岐阜県羽島郡・近石千恵美施設長)の職員が優秀な人材確保のための工夫や入居後も人として「あたりまえ」の生活ができるための取り組みなどを3回シリーズで紹介した。

を行っている。収集した情報から入居者に寄り添ったその方らしい「ケアプラン」や「1日の生活シート」を作成することで、根拠に基づいた支援、「あたりまえ」の実践ができています。

STEP3: 現場でのことII

変わる勇気、継続中

講師: 介護課長 吉田昌孝氏

5年前、記録漏れや手書きの記録を確認しに行くタイムロスなどの問題解消のため、記録の電子化に踏み切った。自施設に適した既存の記録ソフトが見つからなかったため、独自の記録ソフト「ユニReco」の開発からスタートした。管理者が概要を確認したうえで、リーダーにメリットなど導入の必要性を説明。導入当初、端末操作に不慣れな人からは手書きの方が早いという声もあがったが、指導回数を増やしたり職員同士が教え合ったりするうちに意識が変わってきた。開発業者に対し改善の意見も出るようになり、バージョンアップを繰り返すうちに、自施設に適した記録ソフトになった。良いと思ったことはぶれずに取り組み続ける勇気が重要だ。

【セミナーを聞いて】

「ぶれない熱意とチャレンジ精神」

職員が働きやすく、入居者は「あたりまえ」の生活ができる施設。その実現に必要なのは、方向性が決まったら反対意見が出てもぶれずに続ける「熱意」と「まずはやってみよう」という「チャレンジ精神」だと感じました。(山)

【事務局から】実地研修施設募集!!

推進協では実地研修施設を募集しています。実地研修施設になることで、職員間の連携、質の向上につながります。実地研修施設を目指しませんか。ご応募をお待ちしております。

STEP1: 職員紹介制度で優秀人材を確保!

講師: 介護統括部長 杉田美智代氏

働きやすい職場にするには、理念を職員全員が理解して行動できる体制づくりが重要。資格取得奨励一時金制度やユニットリーダーにはユニットリーダー研修を受講してもらうなど、職員の質向上のバックアップもしている。また、結婚後も働きたい、子育てしながら働きたいという声にこたえて、準職員制度や企業内保育園を用意している。職員が働きやすく自慢できる施設であれば身内や知人を職場に紹介したいという思いにつながる。職員紹介制度で優秀な人材確保ができています。

STEP2: 現場でのことI

「あたりまえ」の実践

講師: 介護主任・ケアマネジャー 辻章子氏

施設に入っても、人として「あたりまえ」のことができるよう支援している。例えば「朝起きたら何をするか」といったことも「朝はパン食」、「朝ごはんはパジャマで食べてから着替える」など人によってさまざま。70の質問からなる「うれし野バージョン・聞き取りシート」を使って、その人にとって「あたりまえ」の暮らしの流れを知るようにしている。また、普段の支援の中でも情報収集

入会施設のご紹介

【三重】特別養護老人ホームゆう

(福) おきつも福祉会

理事長 岡井謙一

施設長 岩名真臣

名張市木屋町812番地2

【会員施設数】396施設

(令和4年1月10日現在)

事務局から

赤枝雄一前会長が会を創立して16年、ひたすら真っ直ぐに心血を注いでこられました。この間に入居要件の変更による重度化やLIFEの導入、加算の種類の増加、人材確保難など介護業界を取

り巻く環境も変化し、創立時とは異なる課題も浮上してきました。推進協は、前会長の遺志を継ぎ、ユニット型施設の経営安定と質の担保を柱に、ユニット型施設推進のため、歩み続けてまいります。今後も変わらぬご支援をお願いします。

事務局一同